

# 京都府：外国人と企業のための相談会 in 京都(3/12開催)

25.03.12

日本在住の外国人、日本人、府内企業の方が、外国人に関するあらゆることを専門機関に相談できる、「外国人と企業のための相談会」を令和7年3月12日(水)に開催します。

- ビザの更新はどうやってできますか？
- 外国人を雇用したいけど、手続きがわからない...
- 近くに住む外国人に、生活のルールを教えたいけど、どう伝えればいいですか？

など、外国人が関わる様々なご相談に、府や国等の8つの専門機関が対応します。

**外国人と企業のための相談会**

無料

3/12(水) 13:30~16:30

場所 京都テルス東館3階 大会議室A-B

▼ 予約はこちら ▼

日本在住の外国人、日本人

府内企業など

問い合わせはこちら (京都府労働政策室) rodoseisaku@pref.kyoto.lg.jp

相談時間は一人あたり30分以内 (法律関係の相談は60分以内)

秘密は守ります

主催：京都府(京都企業人材確保センター)、大阪出入国在留管理庁 協力：日本貿易振興機構(ジェトロ) 京都貿易情報センター  
参加：京都府労働局、大阪外国人雇用手帳サービスセンター、日本司法支援センター(法テラス京都)、京都府国際センター、京の留学支援センター

# 京都労働局：『6月は外国人雇用啓発月間』周知を発表

25.05.29

京都労働局は外国人雇用啓発月間の周知を行い適正雇用を促進。

在留カード確認や雇用状況届出など法令遵守の要点を案内。

多言語資料や相談窓口の活用を呼びかける。

不適切な取扱いの予防に向け情報提供を強化。

ハロートレーニング等の施策も案内し技能形成を後押し。

多様な在留資格の就労要件理解を促す。

企業向け研修やリーフレット配布を展開。

関係機関連携で受入れ環境整備を進める。



[https://jsite.mhlw.go.jp/kyoto-roudoukyoku/gaikokuzinkoyou\\_keihat-su.html](https://jsite.mhlw.go.jp/kyoto-roudoukyoku/gaikokuzinkoyou_keihat-su.html)

# 京進：インド北東部で日本語教育・人材開発で連携を発表

25.05.22

京都発の京進がインド北東部で日本語教育・人材開発の連携を公表。

介護・外食・飲食料品製造・宿泊分野を中心に紹介事業を拡大。

育成から入職後支援まで一気通貫の定着支援を掲げる。

現地機関と協働し基礎教育と就労準備を一体で進める。

京都企業の採用ニーズに応え候補者の質と裾野を両立。

送出～受入れのプロセス可視化でリスク低減を狙う。

研修・説明会の開催にも触れ情報発信を強化。

地域人材確保に資する国際連携として注目される。



PR TIMES

株) 京進・Jaceex Ventures LLPとインド北東部における日本...

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000014.000123456.html>

# 京都大学医学研究科：CMEI留学・キャリアセミナーを開催

25.05.27

京大医学教育・国際化推進センターが留学・キャリア講演会を実施。

UCSDの河野優子教授が登壇し動機と実践を共有した。  
英語学習の工夫や米国での資格取得、研究と臨床の両立に触れる。

学生が準備すべき点やキャリア選択の具体例を提示。  
日米医療現場の違いや女性医師の活躍と課題を解説。  
自己紹介や質疑で双方向の学びを形成。  
海外志向の医学生に実践的な道筋と心構えを提供。  
学内連携とともに継続企画を目指す。



京都大学医学研究科 医学教育・国際化推進センター |  
CMEI留学・キャリアセミナー：村上 尚加先生...

<https://cme.med.kyoto-u.ac.jp/news/2554/>

# 同志社大学：SAF留学説明会・個別相談を実施（春学期）

25.05.12

同志社大学がSAF留学の説明会・個別相談を開催し参加予約を案内。

海外派遣の仕組みや応募準備、費用や単位認定の流れを説明。キャリア形成への効果を事例とともに紹介した。

オンライン併用で参加しやすい。

語学力強化や国際ネットワーク構築の重要性を強調。

在籍状況に応じた相談対応で計画立案を後押し。

留学後の就職活動へのつなげ方にも触れた。

実践的な助言を提供する取り組みとなった。



同志社大学 国際課  
SAF留学について | ...

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/other/saf\\_program.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/other/saf_program.html)

# 介護技能実習生の成功事例：来日から3年、総合 病院で3年間の実習を経て見せてくれた成長

2025.09.29

今日は、京都の病院で技能実習を終えた実習生をご紹介します。思い返せば、コロナが明けてようやく日本に来ることができた皆さんでした。来日当初は日本語もまだ十分ではありませんでしたが、仕事や生活の中で日本語を使いながら、忙しい中でも勉強を続け、試験にも挑戦していました。そのひたむきさと愛嬌のある笑顔がとても印象的でした。これからは新しい場所で、新しい仕事、新しい仲間との生活が始まります。どうか体に気をつけて、これからも頑張ってください！話すこと、書くことも、とても上手になりました！

3年間を振り返って

介護職  
京都

□日本へ来た時のこと

○日本へ来たとき一番心配だったことはなんですか？

日本へ来たとき一番心配したのは、日本語でのコミュニケーションで自分が話せること、ちゃんと行っているか不安でした。でも皆さん優しくサポートしてくださって、少しずつ慣れてきました。

○はじめて利用者さんと接したとき、どんな気持ちでしたか？

初めての利用者さんと接したときは、どんな方なのか、楽しんでわくわくしていました。でもうまく対応できるか不安もあり、正直とても緊張していました。

□仕事のこと

○心に残っている利用者さんとのエピソードを教えてください。

私の心に残っている利用者様は、私にいつも話しかけてくださる方です。日本の文化や日本語も覚えてくださいました。そのおかげで、日本語をたくさん覚えることができました。

□文化のこと

○日本のマナーや日本人の考え方でミャンマーと違うところはどこでしたか？

日本とミャンマーで違うと感じたのは、あいさつの仕方です。日本では、あいさつをするときに目線を下げてあいさつをするのが普通ですが、ミャンマーでは手を出さず、目線を上げてあいさつをするのが普通です。

# ミャンマーの外国人技能実習生らに感謝 京都山城ロータリークラブがレセプション開催

2025.12.02

京都山城ロータリークラブは11月26日、けいはんなプラザ（京都府精華町）で、近隣の病院や介護施設などで働くミャンマーの外国人技能実習生らを招いたレセプションを開催した。日ごろの取り組みに感謝の意を伝えるため同クラブが企画し、実習生約30人が参加。冒頭で上村（かみむら）卓三会長が「今回のような会を開催することで、ミャンマーとの交流をこれまで以上に深めていきたい」とあいさつした。レセプションでは、主に各国の世界遺産を撮影している写真家の三田崇博さんが、ミャンマーでの活動を報告。実習生らは、母国でのエピソードなどに聞き入っていた。



レセプションであいさつする京都山城ロータリークラブの上村卓三会長（右） = 11月26日、京都府精華町

# 母国語で働ける場、翻訳アプリで 外国人が半数の町工場が抱く危機感

2025.07.18

深刻な人手不足を背景に外国人従業員の雇用が進む中小企業。従業員の半数が外国籍で「言葉の壁」に悩んでいた京都の町工場は、18言語に自動翻訳されるアプリを活用し、職場環境の改善を図っている。社長は「母国語で働ける環境を整えていかないと、日本のものづくりは生き残れない」と危機感を抱く。金属加工を手がける小林製作所（京都府長岡京市）には、ベトナム語やタイ語のカレンダーや業務指示が、工場の至る所に貼られている。955年創業でフォークリフト、建設機械などの加工を手がけ、従業員はおよそ110人。そのうちタイやベトナムが出身の外国人は約60人。人手不足で日本人の採用が難しくなった12年ほど前から外国人の採用を始めた。多くが技能実習生や特定技能外国人（1号）という



従業員が半数が外国人従業員小林製作所。左から3人目が小林裕明社長=京都府長岡京市、林利香撮

# 外国人職人 シーリング日本一 山科の会社

2025.12.02

防水工事などを手がける建設会社「シーレックス」（山科区）で働く特定技能外国人の男性が、「シーリング」の施工技術を競う全国大会で、外国人として初優勝を果たした。快挙の背景には、外国人人材の技術力の向上を目指し、竹田幸平社長（53）が10年以上かけて築いたノウハウがあった。チャントタッチさんは2018年、技能実習生として来日。同社で5年間働き、23年に最長5年間在留できる「特定技能1号」に移行した。現在は、熟練労働者として永住が認められる同2号への移行を目指しており、「母国で暮らす妻と7歳の長男を呼び寄せるのが夢」と話す。



竹田さん（右）と談笑するチャントタッチさん（山科区で）

# 超難関「特定技能2号」突破、 ベトナム人職人訪ねる

202.12.09

京都市の建設塗装会社・小室塗装店（小室浩之社長）で働くベトナム人社員のチャン・ドゥオン・ルアンさん（28＝写真）は昨年末、外国人労働者の在留資格「特定技能2号」の評価試験に合格した。日本人でも受かるのが難しいと言われる特定2号の試験に独学で挑戦して突破、塗装業界ではおそらく初の快挙だ2人はベトナムでの半年間の研修を終え、2019年秋に来日。「住居は当社が所有しているマンションの部屋を提供し、日常生活のこまごまとしたことはウチの家内がフォロー。仕事に関しては現場の職人が面倒を見ていますが、『仕事を覚えることにどん欲』『ガッツがある』『素直』など周りの職人たちの評判もすこぶる良い。



CoatingMedia

超難関「特定技能2号」突破、ベト...

# 日本語学校、外国人集住地域での フィールドワークを実施しました

2025.07.31

「アジア言語研究演習Ⅰ」今西ゼミで、ゼミ活動の一環として在留外国人が多く暮らす愛知県・名古屋市を訪れ、技能実習生への渡日後研修を行っている日本語学校(Sachi International School)、在留外国人が集住していると言われている九番団地、そしてその周辺を見学しました。日本語学校では、フィリピン出身で日本にやって来たばかりの介護の技能実習生の会話パートナーとして、研修での日本語学習活動(防災センターでの訓練の振り返り、防災への備え、避難訓練についての質疑応答、フィリピンのお薦めの食べ物や観光地の紹介など)に参加しました。また、日本とフィリピンのお菓子を囲んでのティータイムでは、笑顔いっぱいの国際交流を行いました。その後の九番団地周辺の見学では、街を散策しながらスーパーの品揃え、日本語とポルトガル語表記の看板の多さを実感しつつ、多文化共生の現状や課題などについての考えを深めました。



# 食や農の現場で働く外国人と地域社会 —技能実習制度の30年—

2025.09.10

日本で働く外国人の数は年々過去最多を更新しています。都市部ではコンビニや飲食店などで働く外国人を見かけることが多いでしょう。そのような可視化される場所だけでなく、十分に可視化されていない食や農の現場でも（こそ）、外国人が欠かせない状況になっています。わたしたちがスーパーで目にする野菜や果物の収穫やコンビニ弁当の製造に外国人が深く関わっています。1993年に創設された技能実習制度が外国人の受け入れに大きく影響してきましたが、2024年には廃止が決まり、2027年を目処に新たな制度が運用される予定です。ここでは、農業部門を中心に、これまで外国人がどのように受け入れられてきたのか、また技能実習生制度が誕生して30年あまりのなかで、外国人や受け入れ現場がどのように変わってきたのか、いくつかの事例を紹介します。それらをもとに、昨今話題にあがる外国人排斥についても考えてみましょう。



出典：<https://www.youtube.com/watch?v=HsT7rOpemK4&t=1s>

# 特定技能外国人受け入れ 指導事業場の8割違反／京都

2025.12.13

京都労働局は、特定技能外国人を受け入れている事業場への監督指導の結果を初めて公表した。2024年に117事業場に監督指導を実施したところ、約8割の93事業場で法令違反があった。特定技能外国人の制度は19年に始まった。外国人技能実習生とは根本的に違い、日本国内の人手不足を補うことが目的。一定の専門性や技能がある外国人で、就労を前提とした在留資格を示す。



# 京都の民家2棟にインドネシア国籍19人が 生活 不法残留幫助 ...

2025.11.12

在留期限が過ぎたインドネシア国籍の男7人を京都市内の民家に居住させたとして、京都府警は12日、出入国管理法違反（不法残留幫助）の疑いで、インドネシア国籍で自営業のムハマッド・ヌズライ容疑者（48）を逮捕した。調べに対し、ムハマッド容疑者は「オーバーステイのインドネシア人が住んでいるのは知っていたが、出て行ってほしかった」と述べ、容疑を認めている。



# 【京都の観光公害】外国人増加で潤う一方"日本人離れ"も「インバウンド多いから...」

2025.11.08

京都市で深刻な「観光公害」。外国人観光客の増加で潤う一方、逆に売り上げが減っている店もあるようです。また嵐山の美術館では、“混んでいる”というイメージを持たれているためか、「インバウンドも多いので、もう来るのやめようか」と来館を控える客も。市は混雑緩和のため「分散観光」などを進めていますが、3連休中、京都駅前のバスターミナルには相変わらず長蛇の列が... 人気観光地・京都が抱える課題、そして、対策について取材しました。

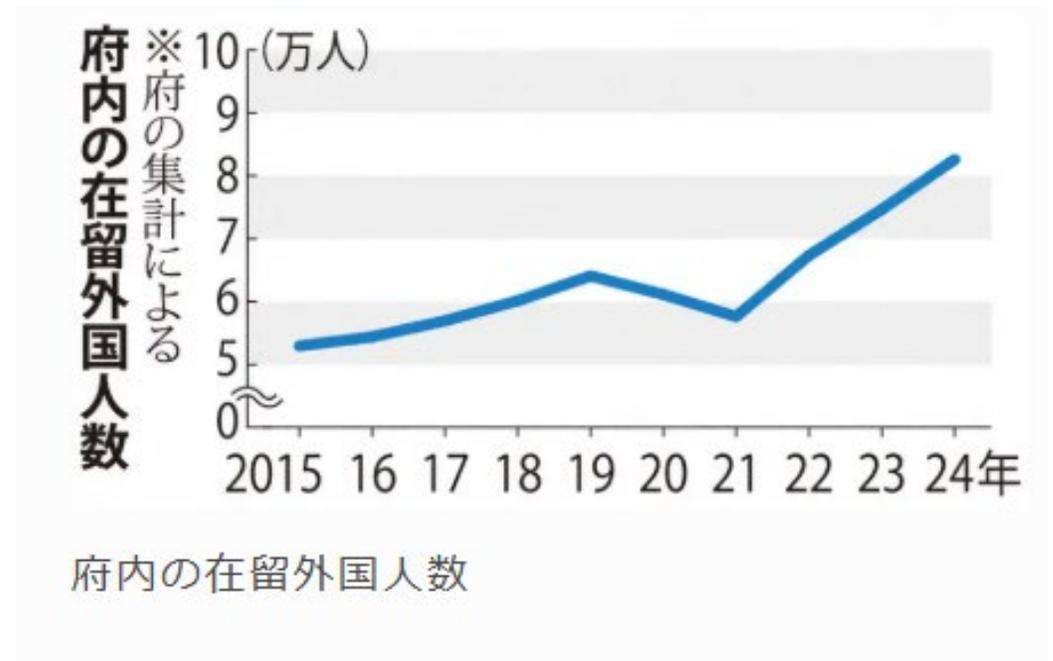


“分散観光”の効果！？観光客が3年で1.4倍に

# 在留外国人、最多8万人超 府内の留学生、 毎年数千人増 京都市集中は変わらず / 京都

2025.12.13

府内で暮らしている在留外国人が2024年末時点で8万2584人に上り、過去最多となったことが府の集計で判明した。10年間で約1・6倍に増えた。約75%が京都市に集中している。増加の背景には、留学生や外国人労働者が増えていることがある。府の集計によると、府内の在留外国人は15年が5万2968人だったが、18年に6万人を超え、24年に初めて8万人を超えた。新型コロナウイルス禍で一時は減ったものの、増加傾向が続いている。75%前後が京都市に集中していることは変わっていない。



# 【参院選】 京都府の外国人労働者は22%増 人出不足が深刻化の中、不可欠な存在に

2025.07.15

京都府内の外国人労働者数は2025年10月末時点で過去最多の4万993人に達し、人手不足を背景に4年連続で増加、初めて4万人を超えました。ベトナム（23.6%）や中国（17.8%）が上位を占め、製造業や宿泊・飲食サービス業が中心です。2024年10月時点では22%増の約3.5万人となっていました 主な詳細状況は以下の通りです。

- 推移: 2021年(2.1万人)→22年(2.3万人)→23年(2.8万人)→24年(3.4万人)→25年(4.0万人)と急速に増加。
- 主な業種: 製造業（約1万人）が最多で、宿泊・飲食サービス業（約7,900人）が続く。
- 事業所状況: 6,590カ所で雇用されており、30人未満の事業所が約6割を占める。
- 国籍: ベトナムが9,678人と最多、次いで中国（7,286人）、ネパール（3,948人）。